



# 大 樹

令和7年度学校教育スローガン

自分軸で進む！ 未来を創る！

第309号

令和8年2月18日

文責：校長

山根 斉 浩

## ◇ 2月（如月）～大雪で臨休に～ ◇

2月7日（土）から8日（日）にかけて、厳しい寒波の襲来を受け、全国的に記録的な大雪になりました。奥出雲町でもかなりの積雪を記録し、小・中学校は、9日（月）を臨時休業にすることになりました。9日の朝、中学校へ来てみると、中庭や校舎周辺は厚い雪に覆われ、歩くことも大変な状況でした。幸いなことに雪による事故や災害の報告はなく、1日休みをとって除雪等が進み、翌日からは通常どおりの生活に戻りました。立春は過ぎましたが、春本番までにはもう少しかかりそうです。



## ◇ 学校公開日・進路説明会 ◇

1月30日（金）に、3学期の授業公開日を実施しました。積雪もあって足元の悪い中でしたが、たくさんの保護者の皆さんにご来校いただき、生徒の皆さんの様子をご覧いただくことができました。

今回、1・2年生は合同で「進路説明会」を開催しました。3年生が高校入試の最中ということもあり、1・2年生も進路に関する関心が高まっているようで、生徒も保護者の皆さんも真剣に説明を聞いていました。また、給食試食会も開催しました。参加者の皆さんには生徒と一緒に給食を食べていただきました。

### 【3年生の授業風景など】



### 【2年生の授業風景など】



### 【1年生の授業風景など】



## ◇令和 8 年前期生徒会「生徒総会」を開催しました! ◇

1月23日(金)に「生徒総会」を開催し、令和7年後期(3年生)の活動報告と決算、令和8年前期(2年生)の活動計画と予算案について審議を行いました。慎重審議の結果、予定された議案は全て承認されました。前半の審議が終了したところで、3年生の役員が後輩の皆さんに向けて挨拶をしました。リーダーを中心に3年生全員が結束して横田中学校の生徒会を支え、盛り上げてくれました。3年生へのお礼の気持ちを込めて、後輩から大きな拍手が送られました。今回の生徒総会を経て、生徒会活動が3年生から2年生へ引き継がれました。3年生の皆さんお疲れさまでした。次は1・2年生の皆さんで、横田中学校の生徒会を盛り上げてくれることを期待しています。



## ◇「読書の日」の取組から◇

2月2日(月)からの一週間を「読書週間」とし、2月5日(木)には、全校で読書を行う「読書の日」を設けました。この日、全校生徒が一斉に読書を楽しみました。最初に先生方が、是非生徒に読んで欲しいと思う本を紹介しました。生徒の皆さんは先生の話聞き、紹介された本を読みたいと思った人もいたようです。

その後、生徒の皆さんは各自が準備をした本を取り出し、読書を始めました。教室には、ページをめくる小さな音が響き、全員が本の世界に没頭していたようです。当日の様子を紹介します。



### <生徒の感想から>

朝読書の時間が無くなって、読み切ることのできなかつた本も読み切ることができました。本を読むことで、気分転換になり良い日を過ごせました。

空いている時間を見つけて本を読み、久しぶりに毎日本を読んで、集中する力が少しでもついたと思うので良かったです。

意識して本を読めました。新しい本を見つけて、いっぱい読めて良かったです。友だちと本の話もできて楽しかったです。

普段はあまり読書をしないけど、読書週間で本をたくさん読めたので良かったです。

スマイルチャレンジウィークでメディア接触の時間を、読書に置き換えることができました。本と触れ合う機会を増やしてもいいと思いました。

## ◇外部講師による講演会・学習会等「三題」◇

### ◆3年性教育講演会◆

1月27日(火)に、3年生を対象に看護師の錦織可奈子先生をお招きして性教育講演会を行いました。卒業を間近に控えた3年生に向けて、思春期に起こる体と心の変化をはじめ、避妊や妊娠について、具体的でわかりやすいお話をさせていただきました。講演の途中でグループワークを行い、「今妊娠したらどうする？」をテーマにして、誰に相談するのか、産む・産まないといった選択について、それぞれが自分の考えを持ち、仲間に伝えながら意見を交わしました。生徒の皆さんは、簡単には答えの出ないテーマに真剣に向き合い、自分事として考えることができました。

錦織先生から、「子どもだけで3時間悩んで、どうしようもなかったら信頼できる近くの大人に相談してね。大人はみんなの力になるよ」という心強いメッセージもいただきました。

今回の講演を通して、生徒一人一人が自分の体と心、そして将来について考え、困った時には一人で抱え込まずに、相談する大切さを改めて学ぶ機会になりました。

### ◆バースデー・プロジェクト◆

1月28日(水)に、島根県助産師会の玉串さん、加瀬部さんをお招きし、2年生を対象にバースデープロジェクトを実施しました。講座では、いのちのはじまりから、お母さんのお腹の中で赤ちゃんが成長していく過程、妊娠中のお母さんの体と心の変化、そして出産について、実際に助産師として働いておられる経験をもとに話をさせていただきました。生徒たちも、おもりが入った妊婦体験セットを着たり、赤ちゃん人形を抱っこしたりする体験を通して、いのちが生まれることの重みや、妊娠、出産に伴う大変さを実感することができました。今回の講座を通して、自分自身が多くの人に大切にされ、支えられて生まれてきた存在であることを、改めて感じるすることができました。命の尊さや重みを知るとともに、これからの自分や周りの人を大切にしていこうと考える、貴重な学びの時間となりました。

#### <生徒の感想から>

妊婦体験をしてみて、妊婦さんがどれだけ大変かわかったので、これから妊婦さんに出会ったら、物を拾ってあげたり、お手伝いができたりしたらいいなと思いました。

妊婦体験を通じて、お母さんがこんなに大変な目にあいながらも、自分を産んでくれたと考えたら、一生をかけてでも恩返ししようと思いました。

自分の心臓の音をはじめて聞いて、生きていることを改めて実感しました。

赤ちゃん人形を抱っこしてみると、すごく重く感じて、人形だけ「大切にしたい」という気持ちになりました。

### ◆3年租税教室◆

1月26日(月)、3年生は「租税教室」を開催しました。社会科で学習した税金に関する内容について、松江税務署の中山さんにお越しいただきました。税金に関する知識や情報を、中学生に分かりやすく、興味をもちやすいように工夫をいただきながら、講義を進めていただきました。クイズ形式で出題された問いについて考える場面では、生徒の皆さんが真剣に考える姿が見られました。少数数のグループで相談をしながら答えを考えましたが、グループによって色々な意見が出て、よく考えているなど感じました。

#### <生徒の感想から>

今日は租税教室がありました。大人になると、今よりもたくさんの税金と関わる機会があると思うので、租税や制度をしっかりと知って、今日の知識を活かしていけるようにしたいです。

## ◇令和7年度「学校評価アンケート」の結果◇

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

先日実施しました令和7年度の学校評価アンケートにつきまして、ご回答いただいたデータを集計し、今年度の取組の「成果と課題」を検証しました。更に「今後の対応策」を検討しましたのでご報告いたします。

なお、生徒アンケート、保護者アンケートの結果は、本校HPの「学校評価アンケート」のフォルダに入れてありますので、ご覧ください。

重点項目	令和7年度の取組についての「成果と課題」、「今後の対応策」
1 主体的に学ぶ学習者を育成するための取組の推進	<p>【成果と課題】・生徒への適切な学習指導について、校内の「一人一授業」の実施が有効であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「たつじんテスト」の結果や日々の授業の状況から、生徒の学習に関する課題が明らかになった。</li> <li>・課題解決型の授業は、今後の社会を乗り切る力をつけるために有効である。</li> <li>・生徒が家庭での学習内容や時間を記録し、教員がそれを確認して個別に学習指導する取組を行った。</li> <li>・授業理解度について、生徒の肯定的回答が多いのに比べてテスト結果が低く、学力定着と進路意識の不足が課題である。</li> <li>・生徒の弱点である「言葉の力」や、基礎力強化に取り組んだが、達成度が低い。</li> <li>・基礎的な知識については、分かったつもりになっている生徒が多い。</li> <li>・自分で計画を立てて学習に取り組むことが難しい生徒に対しての指導には課題がある。</li> </ul> <p>【今後の対応策】・「一人一授業」の実施を念頭に、来年度は参観機会と意見交換の場を拡充したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育計画の見直しや、早期の進路説明、個別の目標設定に計画的に取り組む。</li> <li>・学びを言語化するまとめや振り返りの工夫をしたり、「一人一授業」や学びなおしの時間を設定したりして来年度の研究の柱に据えて取り組んでいきたい。</li> <li>・「言葉の力」の向上を学校教育の重点として掲げ、教育活動全体を通して基礎学力を向上させるための取組を推進していく。宿題の出し方、チェックの仕方等についての検討を行う。</li> </ul>
2 自己実現力を高めるための取組の推進	<p>【成果と課題】・全学年でキャリア教育と生徒の自己理解の推進に取り組み、生徒が自己を深く見直す機会を得ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話を通して自己理解を深めるツールとして、キャリアパスポートを活用した。じぶん探究や面談時のプレゼンテーションなども有効に活用することができた。</li> <li>・全教職員で生徒指導方針の共通理解を図り、生徒一人一人の状況に応じて成長を促し、自己実現を支える生徒指導を行った。</li> </ul> <p>【今後の対応策】・全校あるいは各学年での活動《じぶん探究、体育祭、学期のふりかえり、職業調べ、職場体験、面談でのプレゼンテーション等》を系統的に進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解を深めるために有効なツールとして、今後もキャリアパスポートの活用を継続していく。</li> </ul>
3 人権教育を通じて、多様性を認め合い、全ての生徒の能力を引き出す集団づくりの推進	<p>【成果と課題】・職員研修で、生徒一人一人の多様なニーズに応じた支援を行うことに対する意識が高まった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校での研修や学級・学年活動において、人権や多様性を尊重し、よりよい人間関係・集団づくりの意識を高める取組を行った。</li> <li>・職員研修において「人権意識に関するチェックリスト」を活用し、教師としての人権意識の高揚を図った。</li> </ul> <p>【今後の対応策】・よりいっそうの研修や、個別のケースについての検討を充実させていく。今後も状況に応じて改善を図りながら、こうした取組を継続していく。</p>
4 社会を変えていく力の育成を目指した取組の推進	<p>【成果と課題】・昨年度の特活研の取組の成果として、合意形成力を高める話し合い活動が生徒の中に根づいていると感じる。1年生にも経験させ、少しずつ話し合い活動ができるようになってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コーディネーターの活用によって、充実した学習活動を実施することができた。</li> <li>・教職員は、生徒自身がもう少し自分で考えて動けるようになってきている。</li> </ul> <p>【今後の対応策】・合意形成力を高める話し合い活動を、今後も大切にして積極的に推進していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・社会と連携しながら、3年間を見通した系統的な計画を策定し、全教職員の共通理解のもとで生徒に必要な取組を実践していきたい。</li> <li>・授業内の学習、行事や生活管理等、どのあたりから生徒に任せるか等、教員同士で共通認識を図る。</li> </ul>
5 創造的に働ける職場環境づくりの推進	<p>【成果と課題】・生活時程の改定案を試行して放課後の時間を生み出すなど、業務改善の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この取組について、色々な視点から心配する声や、時間の有効活用について考えるべきという声があった。</li> </ul> <p>【今後の対応策】・時程の変更によって生み出した時間を、有効に活用していきたい。それがよりよい教育につながっているかどうかの確認方法や、その情報を公開する方法等について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を見通した総合的な学習の時間の計画や、各教科の年間計画策定の際に、地域人材・教材の活用の視点を持つ必要がある。状況を確認し、対応策を検討していく。</li> </ul>